



# ひなどり



園だより 1月号  
平成30年1月9日  
新潟市立新津第三幼稚園

## 子どもにとって…本当に大切なこと

園長 間嶋 哲

新年あけましておめでとうございます。平成30年が始まり、早くも一週間が過ぎました。突然ですが、幼稚園のホームページをご覧頂いたことはあるでしょうか。

『新津第三幼稚園の様子』という部分をクリックしていただくと、子どもたちの様子をブログ形式で、ご覧頂くことができます。また、『幼稚園の歌』をクリックしていただくと、子どもたちの歌声が流れてきます。子どもたちの素敵な様子を、頻繁に発信しています。

ご存じのとおり、今はコンピュータが当たり前のようにあり、現代社会は、それなしでは何もできないというのが現実です。AI（人工知能）という言葉も、よく聞かれるようになりました。

ところが…。マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツは、三人のお子さんが14歳になるまで、携帯電話を持たせなかったそうなのです。さらには、14歳を過ぎても、夕食時には取り上げていたそうです。「テクノロジーは、たとえば宿題をするときや、友達と連絡をとるときなど、うまく使えば大いに役立つ。だが、使いすぎてしまうこともある」と話しています。

アップルの創業者スティーブ・ジョブズは、「iPad」発売直後に、ニューヨーク・タイムズの記者から「あなたの子どもたちは、この大人気の新製品をどんなふう楽しんでいるのですか」と尋ねられ、「うちの子は使っていない。うちの中では子どもたちのテクノロジーの使用量を制限しているからね」と応えています。

さらに、ツイッターの共同創業者エバン・ウィリアムズは、「2人の幼い子どもたちには、iPadのかわりに何百冊もの本がある。いつでも好きな本を選んで読むことができる」と言っています。

他にもコンピュータ業界を支える人は大勢いますが、代表的な3名を取り上げました。世の中で一番大切だと思うはずの我が子には、最新のテクノロジーをあえて与えず、家族とのふれあいや、子ども時代でしかできない大切な経験や、読書を優先しているのです。

便利なものを与えることだけが、親の愛情ではないということを、改めて感じていただけたらありがたいと思います。何事にも便利になった今だからこそ、子どもにとって本当に大切なことを、みなさんと一緒になって考えていきたいものです。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

